



Le Journal de l' Etoile.

中 3 研修旅行(2 日目)

・2 日目 中国新聞社にて語り部さんのお話・広島自主研修

広島駅からバスに乗って、中国新聞社まで行き、午前中は原爆生存者(語り部さん)のお話を聴きに行きました。20 分ほどで、中国新聞社に到着。今回は、被爆者の朴さんのお話を聴きました。

朴さんは 13 歳の時に路面電車で被爆したそうです。本来は学校がある日でしたが、学校に行っても勉強はできず、建物疎開の手伝いをさせられるだけだと思い、もう既に治っている額の怪我を理由に学校をズル休みして路面電車に乗っていたらしく、学校に行っていた同級生は全て死んでしまったとのこと。

それまでずっと一緒に過ごしていた友達がいきなりいなくなる悲しさは想像を絶します。しかも死別です。朴さんは最後に、「この記憶を伝えていってほしい」とおっしゃいました。被爆者の高齢化が進む中、我々が大人になったときに同じことが繰り返されないよう、我々が伝承しなくちゃいけないと感じました。杖をつきながら登壇し、時々言葉を詰まらせながら、それでも被爆体験を話す朴さんの姿には被爆者としての自らの経験を伝えなくてはという強い責任を感じました。

語り部さんのお話を聴いた後は、班別で自主研修(自由行動)です。平和公園を少し散歩した後、船に乗って宮島へ行きました。港に行く途中、原爆ドーム(旧広島産業奨励館)の横を通りました。教科書やインターネットで見たことはありますが、実際に見るとやはり原爆の恐ろしさを実感します。中には入れませんが、外から見ただけでも建物の中に瓦礫が散乱しているのがわかりました。昔は階段もあり、各フロアにちゃんと床があって、たくさんの方がいたのでしょう。原爆はそれらを一瞬で奪ってしまう、やはり恐ろしいものです。

平和公園から宮島には直通の高速船があります。わざわざ電車で宮島口へ行かなくとも、この船に乗ればわずか 45 分、しかも川の河口までは甲板に出られるため、風を感じながら宮島に行けるのでおすすめです。平和公園→宮島→宮島口で 2300 円と少し高いですが、払ってでも乗る価値はあります。

13 時 5 分、宮島に到着しました。宮島といたらやはり、厳島神社です。そして、宮島に来たらもう 1 つ、行くべき場所があります。宝物館、厳島神社の出口にあり、刀や書物を展示しています。普段見ないようなものがそろっているので、興味津々になると思います。気づいたらもう 15:00 過ぎ。ホテルに帰る時間です。

宮島港 15:25→アクアネット広島・宮島口宮島航路→宮島口港 15:35

そして帰りは広電でゆっくり帰りました。広島市街は太田川の三角州でできていて、水分の多い土地なので、地下鉄を掘れず、令和の時代でも路面電車が未だにたくさん残っています。(中 3 Y.Y)

